

2025 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

歴史総合＋日本史探究

解答

- I. (1) ホ (2) イ (3) ハ (4) ニ (5) ホ
(6) ハ (7) ホ (8) ニ (9) ホ (10) ハ
(11) イ (12) ハ (13) ロ (14) ホ (15) ニ
(16) ロ (17) イ (18) ハ (19) ロ (20) イ
- II. (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ハ (5) ニ
(6) ハ (7) イ (8) ハ (9) ホ (10) イ
- III. (1) ハ (2) ロ (3) ニ (4) ロ (5) イ
(6) ニ (7) ホ (8) ホ (9) ハ (10) イ
- IV. (1) 長岡 (2) 藤原宇合 (3) 和気清麻呂
(4) 坂上田村麻呂 (5) 御霊会 (6) 桂離宮
(7) 応天門の変 (8) 空也 (9) 六波羅探題
(10) (A)洛中 (B)洛外
- V. (1) 内閣制度 (2) 関税自主権 (3) 青島
(4) ワシントン会議 (5) 台湾 (6) 小日本主義
(7) 華北分離工作 (8) 軍隊 (9) 吉田茂
(10) 自由民主党

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I は法制に關しての通史的問題です。(6)は永仁の徳政令発令時の執権北条貞時が問われています。(9)では江戸幕府の職制への理解が必要で、税務から勘定奉行を導き出すことが必要です。明治期の御雇外国人と法制への整理も必要で、ボアソナードやロエスレルがどのように関わっていたのかをきちんと整理しておきましょう。IIは学習院大学に近い雑司が谷霊園にちなむ内容ですが、江戸時代の人物とそれぞれの業績から、一歩進めてそれぞれの業績に関連させた知識を問う問題でした。IIIも学習院大学にゆかりのある乃木希典にちなむ内容ですが、幕末から明治・大正期にかけての基本的な知識を整理しておけば十分に対応できる問題です。IVは平安京にちなむ問題。古代から近世初期にかけての基本的事項が問われていますが、歴史用語をきちんと書けなければなりません。Vは石橋湛山にちなむ内容で、未知の話題に面食らった受験者もいたかもしれませんが、多くの問題は基本的な知識に基づいて考えていけば解けるものです。

解答

- I. (1) ハ (2) イ (3) ホ (4) イ (5) ニ
(6) ニ (7) ホ (8) ハ (9) ロ (10) イ
(11) ハ (12) ホ (13) ロ (14) ロ (15) ニ
(16) ニ (17) ハ (18) イ (19) ホ (20) ロ
- II. (1) イ (2) ホ (3) ホ (4) ニ (5) ハ
(6) ハ (7) ニ (8) ロ (9) ロ (10) イ
- III. (1) ニ (2) ホ (3) ニ (4) ハ (5) ホ
(6) ハ (7) ロ (8) ロ (9) イ (10) イ
- IV. (1) 明恵 (2) 黄檗宗 (3) 東福寺 (4) 同朋衆
(5) 一休宗純 (6) 慈照寺東求堂同仁齋
(7) 大徳寺大仙院庭園 (8) 雪舟 (9) 永楽帝
(10) 長谷川等伯
- V. (1) アメリカ (2) 西園寺公望 (3) 内大臣
(4) 台湾銀行 (5) 福沢諭吉 (6) 高橋是清
(7) 大政翼賛会 (8) 鳩山一郎 (9) 新興財閥
(10) 天皇機関説

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I は歌舞伎にちなむ問題で、出題は古代から近代までの内容です。何を問われているのかが分かれば基本的な知識で対応できる内容ですが、教科書の内容を広く学んでおいてもらいたと思います。IIは江戸時代の書物に関する内容を主とした基本的な問題でした。IIIは幕末から明治時代にかけての琉球・沖縄の展開に関する内容の問題でした。日本列島の周辺地域はどの時代にも、対外関係や中央との関係で問題になることが多く、それぞれの時代の基本事項と関連させて考えておくことは必要です。IVは鎌倉時代・室町時代の文化に関する問題でした。「黄檗宗」や「雪舟」といった基本的な用語について、意外に字が書けなくて苦しんでいる答案が多く見られました。実際に用語を書いてみるという準備は必要であろうと思います。Vは1930年代の日本についての問題です。決して難しい内容ではないので、基本的な事項を整理して理解しておけば、いずれかの知識で解ける問題です。

文学部コア試験

解答

- I. (1) ロ (2) イ (3) ロ (4) イ (5) ニ
(6) ロ (7) ホ (8) ニ (9) ホ (10) ハ
(11) ホ (12) ニ (13) イ (14) イ (15) ハ
(16) ニ (17) ハ (18) ホ (19) ハ (20) ロ
- II. (1) ハ (2) イ (3) ニ (4) ハ (5) イ
(6) ロ (7) ホ (8) ニ (9) ホ (10) イ
- III. (1) 衛士 (2) 大安寺 (3) 阿倍仲麻呂 (4) 藤原宮子
(5) 恭仁京 (6) 孝謙 (7) 鑑真 (8) 渤海
(9) 藤原永手 (10) 下野
- IV. (1) 大江匡房 (2) 頼長 (3) 藤原信頼 (4) 法住寺殿
(5) 後鳥羽天皇 (6) 選択本願念仏集 (7) 後堀河
(8) 後嵯峨 (9) 菟玖波集 (10) 一条兼良
- V. (以下は模範的な解答例)

西南戦争時に戦費の確保を図った政府が不換紙幣を乱発したことを背景に起こったインフレーションを抑制するため、明治14年の政変後に大蔵卿となった松方正義によって、増税と軍事費を除く緊縮財政を主とするデフレーション政策が実施された。松方は1882年に日本銀行を設置し、国立銀行から紙幣の発行権を取り上げた上で、銀兌換銀行券の発行を日本銀行のみに許可した。これにより、1885年に銀本位制が確立し、後の企業勃興の一因となった。しかし、一般国民の生活は増税によって困窮し、特に米・繭の価格低下に苦しんだ農村では、秩父事件などの激化事件が起こり、また自作農が小作農に転落して、寄生地主制が大幅に進んだ。

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

Iは文字や書物についての通史的な問題です。(10)は古今伝授についての知識を整理しておけば解けます。IIは近世における外国人との関係にちなむ問題ですが、外国人に関する内容だけでなく、近世全体にわたる基本的知識を身につけておく必要があります。IIIは吉備真備にちなむ問題で、リード文にはあまりなじみのない内容も含まれているかもしれませんが、設問で問われているのは、奈良時代の基本的な事項です。IVは平安時代から室町時代にかけての、摂関家を中心とした藤原氏に関する問題です。「菟玖波集」など、用語の漢字を覚える際に、よく注意をしておいて下さい。Vの論述問題は、松方財政について述べる

問題でした。基本的な知識をよく整理して理解しておくことが必要ですが、インフレーションとデフレーションを取り違えた解答や、国立銀行の内容を誤認している解答など、明治期の経済に関する知識の認識があやふやな解答も目立ちました。教科書に出てくる基本事項がどういう関係になっているのか、基礎的な知識を確認しながら、それぞれの事項を連係させて理解を進めておいてもらいたいと考えます。

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

解答

- I. (1) イ (2) ホ (3) イ (4) ハ (5) ロ
(6) ハ (7) ロ (8) ニ (9) ロ (10) ホ
(11) ニ (12) ニ (13) ロ (14) ホ (15) ハ
(16) ニ (17) イ (18) イ (19) ホ (20) ハ
- II. (1) イ (2) ロ (3) ニ (4) ニ (5) ハ
(6) ロ (7) ニ (8) ハ (9) イ (10) ホ
- III. (1) ロ (2) ハ (3) ホ (4) イ (5) ハ
(6) ニ (7) ハ (8) ロ (9) ニ (10) ホ
- IV. (1) 菅原道真 (2) 橘逸勢 (3) 持明院統
(4) 武家諸法度 (5) 藤原頼長 (6) 愚管抄
(7) 足利義教 (8) 京都所司代 (9) 興福寺
(10) 朝倉氏
- V. (1) 経済企画庁 (2) 神武 (3) 鳩山一郎
(4) 経済安定九 (5) 超均衡 (6) 特需
(7) 石炭 (8) 水俣病 (9) 公害対策基本法
(10) 部分的核実験禁止条約

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

Iは軍事に関する通史的問題です。教科書に掲載されている『真如堂縁起』に足輕の姿が見えることなど、画像にも関心を持っていただければと思います。IIは鷹見泉石と古河藩に関する問題ですが、いずれの小問も基本的知識をもとに考えていけば正解にたどりつけるでしょう。IIIは日清戦争後の台湾をめぐる問題です。さまざまな話題が登場しますが、問われている内容は基本的事項をもとに考えるものです。国際関係や近代経済に大いに関連する内容で、近代のこうした問題にはぜひ関心を持っていただきたいと思います。IVは「門跡」という用語にちなむ問題です。「門跡」という語そのものは知っていなくても、解答を導き出すヒントは散りばめられていますので、それらに気づく

ことで正解にたどりつけます。Ⅴは第二次世界大戦後における日本の転換点となった時期に焦点をあてた問題でした。現代社会に比較的近い時代ですが、教科書に取り上げられるような内容は油断することなく、関連づけて時代像を考えてみましょう。

解説・講評

各学部とも、Ⅰに通史の問題、Ⅱ～Ⅴに各時代の設問を置く出題形式です。記述式の解答の場合、「雪舟」の「舟」の字、「恭仁京」の「恭」の字のように、簡単な字なので分かっているつもりでも、実際に書いてみると間違った字になってしまっているといったケースが散見されます。書いて覚える努力を惜しまずに取り組みましょう。